

食品廃棄物等の発生抑制に向けた取組の情報連絡会（第7回）
議事要旨

日時：令和8年3月5日（木）10:00～11:30（オンライン開催）

出席者：出席者名簿のとおり

概要：

1. 報告・発表

（1）調査結果報告

商慣習 WT における調査結果について

（公財）流通経済研究所から、資料1に基づき報告。

<質疑>

・税制特例措置の資料を企業に案内する場合の最も適切なリンク先（URL）を教えてください。

→農林水産省 HP（[食品寄附：農林水産省](#)）「5. フードバンク等への食品提供・寄附に係る税制上の取扱い」を案内。

（2）取組紹介

① 飲料業界の社会課題の解決に向けた取り組みについて

サントリーホールディングス(株)から、資料2-1に基づき紹介。

<質疑>

○年月表示であっても逆転現象は起きやすいのか。

→飲料各社の商品の在庫保有期間は1～2ヶ月程度であり、月表示でも逆転現象が生じることがある。また、飲料の特徴として、同じ商品が複数工場・エリアで製造されており製造タイミングにばらつきがあるため、製造月が複数にまたがり、逆転現象が生じることがある。

なお、大部分の飲料は年月表示で、一部、賞味期限を短めに設定している商品（炭酸飲料等）は、年月日表示としている。

② 物流改革と賞味期限の年月表示化について

（株）栗山米菓から、資料2-2に基づき紹介。

<質疑等>

○年月表示に変える際、社内でのすり合わせはどのように行ったか。苦労したことなどがあれば教えてください。

→2024年問題への危機感を社内の経営層が持ち、トップダウンで社内に指示があったことが大きい。その上で、関係部署（物流担当、品質管理担当）でやり方のすり合わせを行った。また、他社からも知見をもらいながら、社内の体制・ルール作りを進めた。

○今回、(株)栗山米菓様から取組紹介いただいた経緯として、北陸農政局から優良事例として情報提供があった。今後も全国の優良な取組を紹介・横展開出来ればと考えている。事業者・関係団体の皆様におかれては、良い事例をお持ちであれば、ぜひ管轄の地方農政局又は農林水産本省へ連絡いただきたい。

2 農林水産省から情報提供

現在公募中の食品ロス削減に係る補助事業（令和8年度当初、令和7年度補正）について説明。また、Jグランツ（デジタル庁が運営する補助金申請プラットフォーム：[Jグランツ ネットで簡単！補助金申請 | Jグランツ](#)）について紹介。

—以上—